

趣味のボウリング

2022年12月1日

1 / 2

～「KUWATA CUP」の紹介～

皆さん「KUWATA CUP」をご存じでしょうか？

サザンオールスターズの桑田佳祐の発案により 2018 年に立ち上がった、老若男女どこでも誰でも参加することができる、史上最大規模の「みんなのボウリング大会」のことです。

予選会は全国 47 都道府県のボウリング場で、いつでもどこでも参加することが可能です。「ジュニア部門」、「一般男子部門」、「一般女子部門」、「シニア部門」の 4 部門が用意されており、小学生からシニアまで、幅広い世代の人が楽しめる大会となっています。決勝大会の舞台は「東京体育館」で行われ、桑田佳祐のエキシビジョンマッチもあります。

(前回大会の様子)

※ 動画の 2 : 00～くらいに桑田さんと女子プロのエキシビジョンマッチがあります。

<https://www.youtube.com/watch?v=WPY5YLUu9nc>



～ボウリングの魅力～

私にとってのボウリングの魅力の 1 つは、「とっつきやすさ」です。

学生時代にろくにスポーツをしておらず、体力がない私には、動いたり休んだりしながら自分のペースで運動できる、激しい動きがないので怪我や関節等を傷めない、その割には消費カロリーが大きくダイエットに最適 (3 ゲームでご飯 1 杯分)、屋内競技で雨の日や夜でも出来るため仕事しながらでも続けやすい、などでしょうか。

よくボウリングで手や腰が痛くなったと聞きますが、自分の手に合うボールを選び、振り子の原理で投げるコツを学べば、体力ゼロの私でも 10 ゲーム連続で投げられたことがあります。

また、ボウリング人口にはシニアの方が多く、皆さんクラブを作ってリーグ戦等を楽しんでおられます。最近仕事が忙しくてあまりしておりませんが、年をとってからも続けられる趣味として、長く細く続けていこうと思っています。

2 つ目の魅力は「オイルの攻略」です。

よくボウリングはスピードやパワーでピンを倒すと思われがちですが、実際はスピードがなくても普通にストライクが取れます。

ボールを投げた後、よく見ていたら、レーンの奥の方でちょっとだけボールが曲がる場所があると思います。レーンには通常オイルが塗ってあるのですが、ピンの手前部分だけは塗ってありません。ボールが曲がりだすのはそのオイルがなくなるところです。

よって、曲がりだす位置を覚えておき、曲がった後のボールが一番手前にあるピンの側面(左右どちらか)に当たるように、自分の立っている位置や投げる方向などを調整していけば、どんな投球でもストライクになります。この調整方法は人それぞれで、これが結構頭を使うので、ゲームを攻略しているみたいでなかなか面白いです。

趣味のボウリング

2022年12月1日

2 / 2

日本では娯楽のイメージが強いですが、実は海外では普通にスポーツとして人気があります。

山口県出身の方にも、海外でも活躍している男子プロボウラーや下関市出身の現役女子大生プロボウラー(高校時代に国体で優勝経験あり)の方がおられます。また今年の国体で男子団体は準優勝しています。

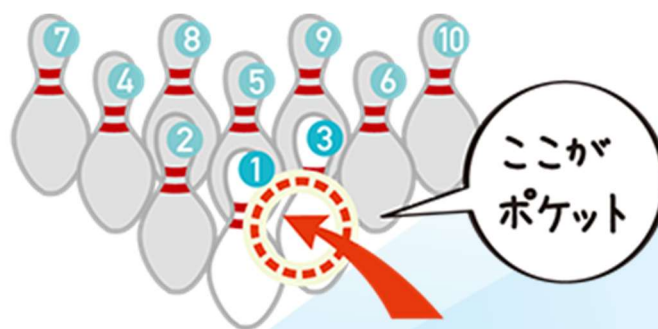
東京オリンピックの種目からは最終選考で落選してしまいましたが、ボウリングがもっとメジャーな競技になることを願って、ここに紹介させていただきました。

もし、私とボウリングに行ってくださいの方がいたら、是非お声がけをお願いします。心よりお待ちしております(´▽`)

☆ 最近のハイスコア ☆



★★ ストライクの取り方★★



※右利きの場合
左利きは反対側